２／６　校長室より №366

　学年末テストまであと２日。今日の朝会で次のような話をしました。

戦国武将に織田信長がいます。彼が全国に名を知られるようになった戦いは何ですか。そう「桶狭間の戦い」です。駿河の大大名今川義元に 25,000 の大軍で攻められた時、わずか 4,000 の織田軍が桶狭間で奇襲攻撃を仕掛けて大将義元の首を取り、奇跡とも思われる勝利を収めました。信長のすごいところは、実はその後からです。普通、上手い作戦で勝てた時や運良く勝てた時などは、自分の作戦に酔いしれ、また同じことをやろうとするものです。しかし信長は「小手先の作戦」や「偶然の勝利」をきらい、戦(いくさ)の前には準備に準備を重ねました。具体的には、敵が５千人いたらその２倍・３倍の、時には 10 倍もの味方を用意し「必ず勝つ」と確信ができてから戦(いくさ)を始めたのだそうです。つまり、信長は戦う前から勝つことが決まっている戦(いくさ)を繰り返していたので、勢力を伸ばすことができたのです。

**　さて、明後日学年末テストがありあます。テストで高得点が取れるというのは、テストを受ける前に高得点をとるだけの準備をしているということになります。準備が大切です。信長のように、準備に準備を重ね、圧倒的な力を付けて今年度最後の定期テストに臨みましょう。**